

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.57
2014.6



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

第2回「歯舞おさかな祭り」3,800人が来場！

歯舞産水産物や料理をPRする第2回「歯舞おさかな祭り」が5月25日、歯舞漁港屋根付き岸壁で開催され、市民ら約3,800人が歯舞の新鮮な海の幸を堪能しました。

会場の鮮魚販売コーナーでは、開始直後から来場者が列を作り、開始30分でメンメ等が完売し、タラ、マス、トキサケも売り切れ盛況でした。

歯舞漁協女性部が担当する食の販売コーナーでは、たらドック、昆布うどん、鱒・鱈の蒲鉾が一時間ほどで完売し、多くの方が会場内で飲食を楽しみました。

また、チャンチャン焼きコーナーでは、肌寒かったことから、暖を取りながらチャンチャン焼きのほかに鮮魚コーナーで購入したホタテなどを焼いて食べる人で賑わいを見せました。

アトラクションでは「お楽しみ抽選会」、子供の部と大人の部に分けての「餅まき」、中央舞台では、演歌歌手の山本裕美子さんのステージ、ねむろ太鼓保存会による根室太鼓の演奏、歯舞小中学校中学3年生17人による「よさこい」などが行われ、迫力あるステージに来場者から大きな拍手と歓声があがりました。

このほか、ホテルねむろ海陽亭の「アサリラーメン」や、実演販売が行われた「さんまロール寿司」、漁協交流が行われている長崎県上五島町漁協の加工品販売など軒並み好評で、大盛況の中、おさかな祭りを終了することができました。ご来場いただいた皆様、並びに関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



歯舞中学校 修学旅行で地元PR活動



歯舞中学校の中学3年生17名は水産学習の一環として、5月14日、歯舞組合で昆布漁業や「はぼまい昆布しょうゆ」の特徴や歴史について漁協職員より講義を受けました。また、その後修学旅行で地元PR活動の際に配布する「はぼまい昆布しょうゆのミニボトル(100ml)」に生徒お手製のラベル貼り作業や、昆布加工場で昆布製品の加工作業を行いました。

修学旅行1日目の5月20日、生徒たちはまず新千歳空港内でお揃いの法被に身を包み、「YOSAKOI」を披露。その後、大

きな声で「歯舞から来ました!」と周知しながら、空港を利用するサラリーマンや旅行者に約900本の昆布しょうゆミニボトルを手渡し、また、「根室といえば?」についてのアンケート調査も実施しました。修学旅行最終日の22日はJR札幌駅構内でのPR活動で、配布開始からわずか10分程で約600本の配布が終了しました。

今回の体験を通じ、生徒たちは歯舞の魅力や商品の素晴らしさを多くの人に伝えることができ、地元愛を深める貴重な体験になったと思います。



第20回「歯舞地区植樹祭」を開催

5月17日、当マリビジョン協議会の「お魚増やす植樹運動」として実施している「歯舞地区植樹祭」を瑛瑤瑯で開催しました。当日は漁協女性部・青年部をはじめ、各後援部会の部会員約150名、さらにぎょれん根室支店より谷口支店長・浜西次長にも参加いただき、別海森林組合指導員の手ほどきを受けながら植樹しました。植えたのは、ハマナス・ヤナギ・ヤチダモなど合わせて508本で、皆汗だくになりながら丁寧に植え込みました。



木が根付く事により地盤が強化され、河川への泥水流入防止効果、水の浄化効果等が期待でき、それらは豊かな海を守ることにつながります。未来に希望を託し、これからもこつこつと継続して活動していきます。

札幌市で「根室産ときしらず」をPR

ねむろ水産物普及推進協議会「まるごと根室」は、6月5、6日の2日間、札幌市の道庁赤れんが庁舎前広場で「ねむろ産直ときしらず祭り」を開催し、旬のトキサケの美味しさを札幌市民や観光客にPRしました。

飲食テーブルに「はぼまい昆布しょうゆ」を置き、トキサケの切り身炭火焼きを一人前300円で販売したほか、あら汁や、根室特産の水産加工品も販売。お昼時には周辺オフィス街に勤める人や観光客で長蛇の列ができ、2日間で2,000食を提供しました。



編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

